



平成 20 年度総会無事終了しました！



皆様のご協力ありがとうございました。

【総会前の研修報告】

総会時研修

総会の行われた 4/25(土)、すでに恒例になりました総会前研修は今回レクリエーションエクササイズ(アイスブレイクからレクダンスへ)を行いました。

ちょっとしたイベントでレクを任された時や、決められたルールのなかでスポーツをすることが難しい方々と接する時、障害者スポーツ指導員として皆さんは何をしますか？

今回の研修はそんな時に役立つ、「雰囲気や和らげるためのレクゲーム」や「参加者同士が仲良くなっていくレク」などを、体験しながら学びあいました。そしてメインプログラムはレクダンスとして、いすに座って行うエアロビクス(チェアビクス)でなつかしい曲ザピーナツの「恋のフーガ」などを踊り、最後は立ち上がってみんなで「WA になっておどろう」や「マツケンサンバⅡ」をおどりました。皆さんのチラッ！と光る汗、ステキでしたよ。お付き合いありがとうございました。



レクリエーションは私たちがどれだけ引き出しにネタを持っているかがカギです。そしてそのネタは時々引き出しから出して使っていないと、鮮度が落ちて使えなくなってしまう。研修会に参加してくださった皆さん、時々自分の持ちネタ、使ってくださいね。

そして残念ながら参加できなかった皆さん、以下に当日行ったレクゲームを示します。(時間の都合で出来なかったものもありますが)いくつかご存知ですか？

- ◆ [アイスブレイク] ゲーパー、後だしジャンケン、自分ジャンケン、鼻耳つまみ、反応拍手、買い物拍手、笛手たたき、8421、さすりたたき、せん切りバター、指折り、命令ゲーム、ごんべえさんの赤ちゃん、幸せなら手をたたこう、でんでん虫
- ◆ [小グループで] こんにち〜わ、あっち向いてホイ、ジャンケン手たたき、1ポンポン、餅つきペッタン、ハイ イハ ドン、手のひら返し、ずいずいずっころばし、むすんでひらいて、チューリップ、ジングルベル
- ◆ [大グループで] 創作ビンゴ、アウトセーフ
- ◆ [チェアビクス] かえるのうた、ドレミのうた、あんたがたどこさ、拍手ひざ足踏み、おもちゃのチャチャチャ、恋のフーガ、荒川音頭
- ◆ [レクダンス] WA になっておどろう、恋のマイアヒ、マツケンサンバⅡ、ペコリナイト、きよしのズンドコ節、きよしのソーラン節、墨田音頭

(レクリエーション担当神保)

【総会報告】

平成 20・21 年度東京都障害者スポーツ指導員協議会 総会

日時：平成 20 年 4 月 25 日(土) 15 時 00 分～16 時 00 分

会場：東京都障害者総合スポーツセンター 集会室

〈会長挨拶 前田会長より〉

雨の中、総会にお集まりいただきありがとうございます。会員皆様のおかげで 20 年度の様々な行事も無事終了できました。本総会においても、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。また、今年は 9 月にアジアパラユース大会が東京で開催されます。本協議会の活躍を示すよい機会となりますので、是非ご協力いただきたいと思います。

1. 議事

(1) 開会挨拶(三浦理事)

定足数の確認 日本障害者スポーツ指導者協議会登録数 1,654 名
委任状：380 名 出席者：25 名 計：405 名
総会成立が確認

(2) 議長選出 河端氏が推薦され、拍手により承認

(3) 書記選出 佐野理事、松浦理事が選出

(4) 第 1 号議案 平成 20 年度事業報告について

総務部：植田副会長より報告（資料No. 1）

広報部：秋山理事より報告（資料No. 2）

研修部：江上理事より報告（資料No. 3）

◇拍手により承認

（5）第 2 号議案 平成 20 年度決算報告（監査報告）について（資料No. 4）

佐野理事より決算報告 安田氏により監査報告

<質疑>

総会時の会員数と決算書の登録者が異なっているが、なぜか。

<回答>

総会時の登録会員数は日本障害者指導者協議会から連絡のあった本年 2 月末の会員数である。20 年度決算書の登録数は、19 年度の本協議会会計報告（平成 20 年 2 月）後に入金された人数を含む数である。

◇拍手により承認

（6）第 3 号議案 平成 21 年度事業計画について

総務部：植田副会長より報告（資料No. 5）

広報部：秋山理事より報告（資料No. 6）

研修部：江上理事より報告（資料No. 7）

◇拍手により承認

（7）第 4 号議案 平成 21 年度収支予算案について（資料No. 8）

佐野理事より決算報告

<質疑>

事務局補助員の経費は、総務部資料（No.5）と異なっている。

<回答>

予算案の 2000 円が正しい。総務部資料を訂正する。

◇拍手により承認

（8）議長解任

2. 報告事項

・会員からの意見紹介等

篠原氏よりスポーツ参加に対する移送サービスに関する情報提供が行われた。今後理事会にて検討し広報で会員に情報を提供する。

・第 10 回東京都障害者スポーツ大会について

身体障害、知的障害の合同大会となって 10 周年である。記念行事としてゴールボール大会が実施される予定である。（高山理事）

・アジアユースパラリンピック大会について

現在 2 次エントリーで 27 の国と地域から参加申し込みがある。本協議会会員も国際大会役員として協力をお願いしたい。また若い選手の活躍の応援をお願いしたい。

・その他

日本障害者スポーツ指導者協議会は NPO 法人解消後に、日本障害者スポーツ協会養成研修部内に位置づけられた。本協議会の活動には大きな影響はない。

日本障害者スポーツ指導者協議会行事予定

ステップアップ研修 8 月 29, 30 日 （東京）

全国研修会 平成 22 年 2 月 13, 14 日 （山口）

（9）閉会挨拶 （三浦理事）



第1回 理事会報告

日時 5月28日（木） 午後7：00 飯田橋スポーツ協会

出席 前田、岡、佐野（里）、植田、松浦、秋山、神保、大森、江上、島、有泉、三浦

前田会長の挨拶～研修会は楽しく行うことが出来た。

<報告事項>

1. 日本障害者スポーツ協会の動き

ブロック代表者会議が開催された。各ブロックによって運営の違いがある。関東ブロックは今までと同様の運営を行う。

2. 関東ブロックの動き

(1) 中級講習会の決算報告～高山

繰越金の取り扱いは、関東ブロック幹事会で決定する。

(2) 21年度実践研究発表会～植田

11月21日(土)22日(日)で開催、ゴールボール日本選手権の見学、グループディスカッションを行う。(予定)

3. 東京都スポーツ協会の動き

(1) 都大会協力者の状況～スラローム競技21名参加、しかし全体として参加者が減少、また高齢者が中心になっている現状。

(2) その他～杉並地域大学の終了者で3名が活動中、登録手続きの関係では指導員登録が終了後人材バンクへの登録が良い。

<協議事項>

1. 21年度総会の総括

(1) 研修会～神保 研修内容をビデオなどで撮影し記録を残す。

(2) 総会～三浦 質問が出ない状況、何か工夫が必要である。

(3) 懇親会～矢本 参加者の情報交換ができた。

2. 21年度理事の体制～いままでと同じ体制とする。

3. 各事業部から

総務：暑気払いを7月18日(土)障害区分の研修終了後行う。場所は王子センター周辺を予定。杉並地域大学(初級養成)は年度後半に行う。

研修：7月18日(土)14:00～障害区分について

広報：今年度より年4回の発行となる。

会計：今後収入の減少が予想される。未登録者が増えている。

3. たより

原稿のしめきりは6月22日 発行は6月24日

【次回理事会】

7月9日(木) 19時～飯田橋スポーツ協会会議室

**研 修 会 の お 知 ら せ****テーマ 「基本的な障害区分の理解のために」**

[講義 2時間 質疑応答30分予定]

日 時： 2009 年7月18日(土) 午後2時～4時30分迄

場 所： 東京都障害者総合スポーツセンター2階 集会室

講 師： 東京都多摩障害者スポーツセンター 高 山 浩 久 氏

申し込み方法：①メールで事務局まで info@tcsid.jp

②FAXで 東京都障害者スポーツ指導員協議会宛 03-5206-5587

③水曜日(1時～4時40分)のみ事務局直通

090-1034-5963(水曜日以外は留守番電話)

申し込み締め切り 2009 年7月15日(水)迄



会員の皆さんの活動報告

会員の皆さんが大会、講習会等に参加協力していただいています。

関東身体障害者水泳大会選手権大会に参加して

サブタイトル「障がい者に向き合えなかった自分…そして向き合える自分」

障がい者スポーツ選手の皆様、障がい者スポーツに関わっておられる皆様、はじめまして私は遠藤 耕司と申します。昨年末に障害者スポーツ指導員（初級）認定を頂き、今年度より活動を始めさせていただきます。

今回参加させていただいた関東身体障害者水泳選手権大会は、私にとって忘れられない初活動の時でもありました。大会に関わらせて頂いた事をお話しする前に、サブタイトルを付けたことと、自己紹介を少しさせて戴こうと思います。サブタイトルに「障がい者に向き合えなかった自分…そして向き合える自分」と付けた経緯をご説明させていただきます。

私にはダウン症候群（重度）の姉がおります。末っ子の私は幼少の頃から母に連れられ、姉の学校・作業施設への送り迎えや諸々の行事に同行していました。生活も姉中心の生活環境で育ちました。私が小学生の頃では障がい者に対する理解が狭められており、姉を理由とした辛い虐めにも逢いました。そのため姉のことや障がい者に対しての受け入れができない自分がいました。

現在では障がい者に対する理解はされて来ておりますが、私自身は海外諸国に比べて、まだまだ理解されていない面があると感じています。そのような虐めもあり不登校な時期も重なり、18歳まで全く泳ぐ事が出来ませんでした。18歳の時に恥ずかしさを抱えながら、泳げるようになりたいという気持ちだけで、スイミングスクールの成人コースを受講しました。そこで生まれて初めて泳ぎらしいフォームで、25mを泳げた瞬間は今でも忘れません。それから一時期、泳ぐことに夢中になり各泳法も学びました。ですが、仕事や若さゆえせっかく覚えても長続きはせず、泳ぐことをしなくなりました。そして気付けば数十年…すっかり水泳からは遠のいていました。

そうした人生の歩みの中で、3年前に仕事のストレス・生い立ちのストレスが一気に頂点に達し、手術はしなかったものの2週間の入院をしました。幸い病院のベットが窓側で、ベットから力強く緑を映えさせる新緑を眺めながら、もしも自分が死んでいたら…もしも自分が障がいを負っていたら…自分は障がいを持った姉がいる家庭で育った。こうしてベットで過ごすことを余儀なくされている方、病院で必死に車いすでリハビリをする方、クラッチを使いながら歩行をする方、色々な障がいを持ちながらも必死にされている姿を見て、自分が出来ること、自分がすべきこと、自分の身体と時間を使うことで何か人の為に出来る事はないか…？そんなことを考えながら退院をして、色々な書籍を読んだり考えたりしているうちに、障がいを持った方を受け入れられる自分に気付き、その時から自分自身の視野に諸々な情報が飛び込んで来ました。会社で大学時代に登山をしており、一瞬 足を滑らせて崖に転落してしまい、車いす生活を余儀なくされてしまった社員との出会い。その社員から聞くりハビリテーションセンターでの生活と、各家庭に戻ってからの大変さの状況の生の声。そして不思議と辿り着いた、肢体不自由児をスポーツを通して支援する NPO 団体。そこで頑張る子供達の勇姿。地元地域で行なわれている、手話講習会生徒募集が記載されていた市報。そして受講し、聴覚障がい者の方との交流。退院後すぐに癒しを求めに行った盲導犬施設。そこで知った視覚障がい者の方が望むこと。このようなそれぞれの障がいのある方と、ボランティア活動を通して関わらせて頂いて来ました。そんな中、皆様がスポーツを通して楽しみ・生きがいを感じて、私自身も共に共感できることは…？と、いう時に「すぎなみ地域大学」で開催される障害者スポーツ指導員（初級）講習に辿り着くことができ、今回の関東身体障害者水泳選手権大会に参加させて頂いた、という経緯があります。

「すぎなみ地域大学」での水泳講習実技で、プール（水）は泳力を競うだけではなく、障がいの有無に関係なく、楽しみたり・リラクゼーションがとれたり・複数名での活動時にコミュニケーションを図りやすいなど、様々な利用方法があることを学びました。大会目的にある、「自己の有する能力への挑戦」・「互いの交流を深める」・「社会参加意力の喚起」・「障害者スポーツの振興と障害者への理解をふかめる」という素晴らしい大会に参加し、招集係をさせて頂き全出場選手の方々とお会いでき、その素晴らしい勇姿と水泳という素晴らしいスポーツを改めて学ばせて頂きました。

この大会に参加された選手のみならず、誰しもが最初は泳げなかったと思います。

「すぎなみ地域大学」の講習時に学んだように、たくさんの方に「水の楽しみ」を知り、感じてもらい、より多くの選手が参加できるように、今後各スポーツセンターで開催される水泳活動をはじめ、諸々のスポーツに携わり 初めてされる方・継続されている方々が、より楽しみながらスポーツを通して生きがいを感じて頂けるよう精進したいと思います。

大会では不慣れで、皆様方には大変ご迷惑をお掛けしたかと思えます。申し訳ございませんでした。また皆様方にはたくさんのお話を学び・経験をさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

いつまでも、「感謝の気持ちを忘れずに」今後も活動をして参ります。皆様今後ともどうぞ宜しくお願い致します。(E)

第10回東京都障害者スポーツ水泳競技大会の感想

私は5月30日・31日に、十条で行われた「東京都障害者スポーツ水泳競技大会」の競技役員補助員として、大会に参加しました。仕事は、1日目は着順審判員、2日目は計時係を担当させて頂きました。着順は30分交代で行い、計時は30分～1時間交代でローテーションでした。私は普段スイマーとして活動しているので、競技役員の仕事を把握できていない部分が多かったと思います。しかし、2日間競技役員をやっ



てみて、競技役員の重要さ、大変さ、また楽しさを感じることができました。とても有意義な2日間になったと思います。

今回の大会は、全国大会派遣選手選考とオープン部。対象者は知的障害、聴覚障害、視覚障害、肢体不自由の選手がエントリーしていました。障害区分の中では肢体不自由の範囲が一番広く、上肢、下肢、上下肢、体幹、脳原性麻痺以外の車椅子使用、脳原性麻痺に別れていました。年齢は13～36歳までの選手が出場していました。自分が中学生の時は50mのクロールを28秒で泳いでいました。今回の大会で片腕や片脚が不自由な方々が、自分が中学生時代の時と同じくらいの記録で泳いでいるのを見て、驚きました。

今回の大会で感じたことは、様々な障害を持つ方々が、普段どんな場所でどんな練習をしているのか。また指導者は、どんな事に注意し、どの位の時間でどの位の距離を泳いでいるのかと、疑問に思いました。健常者である自分が泳ぐことやピアノを弾いたりすることは大変難しいと思います。障害を持つ方々が昔の自分と同じタイムで泳いでいることに驚きを隠せなかったし、本当にすごい素晴らしいことだと思ふばかりです。

最後にみなさんの泳ぐ姿に、驚きと感動を覚えたことをお伝えします。文中に失礼な言葉や文がありましたらお許し下さい。

(I)

「バスケっておもしろい！」

4月11日、12日に知的障害のある方のバスケットボール競技大会が開催され、私は12日のみ参加させて頂きました。当日私は他のボランティアの方と一緒に駐車場係や写真撮影、モップ係、競技観戦などをさせて頂きました。

この大会は新潟大会の関東ブロック地区予選大会でした。まず、駐車場係をやらせて頂き、各地域から選手や関係者をお迎えさせて頂く中で、大きな大会に参加させて頂いていることを実感しました。朝の駒沢公園はランニングをしている人達で大変な賑わいで、私はランニングをしている人達に声をかけて協力してもらいながら、安全にバスや車を通すことに気配りしました。

私は知的障害のある方のバスケを見させて頂いたのが初めてでしたが、あまりの激しさにびっくりしました。男子は激しいぶつかり合いや質の高いチームプレーに圧倒されました。女子は男子の激しさとはまた違う俊敏な動きや、繊細なプレー、疲れを感じさせない体力があり、どちらも非常に楽しませて頂きました。東京チームが男女とも優勝、新潟大会への切符を手に入れられ、そんな場面に居合わせられたことを心から嬉しく思いました。

このような大会に参加させて頂くと、いつも気になるのがお客さんの少なさです。朝のランニングにもあるように、駒沢公園はスポーツが好きな人が多く集まる場所だと思います。ちょっと体育館をのぞけばこんなに見ごたえのある大会が開催されている、それを見ないなんてもったいない、と思いませんか？

最後になりましたが、大会を通してお世話になりました関係者の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

(S)

「スラローム講習会に参加して」

5月9日(土)に王子SCで行われたスラローム審判員養成講習会に参加させて頂きました。今まで競技を見させて頂いたことはありましたが、ルールや審判方法を学ばせて頂いたことは初めてでした。

まず、競技概要を聞いてから実技へ。当日はスラロームや様々な競技でご活躍されているSさんにも実演や指導をして頂きました。Sさんの流石のスキルやルールの説明はとても説得力があって、大変勉強になりました。実技では私自身も実際に車椅子に乗って、スラロームを体験させて頂きました。ルールに従って旗門を通過することに精一杯だったり、旗門をぐるぐる回っているうちに規則も分からなくなるような感覚を覚えました。自分もやらせて頂くことで、競技の楽しさや難しさ、奥深さを改めて感じ、スラロームの魅力をますます感じました。今回教えて頂いたことを現場で生かすにはまだ時間がかかりそうですが、学習の場を提供して頂き感謝しております。ありがとうございました。

また、この講習会を通してSさんはじめ、講師の方、他のボランティアの方と知り合うことができ、とても嬉しく思います。人とのネットワークが大切な活動だと思うので、出会いに感謝して、私自身の活動の幅も広げていきたいです。(S)

「6月6日 陸上競技に参加して」

6月6日(土)に駒沢公園総合運動場で東京都障害者スポーツ大会が開催され、今回は主にスラロームと音源走の補助員をやらせて頂きました。

音源走では、選手が進行方向を確認できるよう、スピーカーの向きや位置をずらさないようにバックランするのですが、それぞれの選手のペースに合わせて私もスピードを調節して走りました。足の速い選手になると、スピード・勢いがあるので、正面衝突してお互いにケガをしないことに気をつけました。真正面から全速力の選手が走ってくるのは、ものすごい迫力を感じました。

スラロームでは、私はスタートから最初の8の字の旗門あたりまでを観察させて頂きました。「東京の選手はレベルが高い」という話を伺っていましたが、確かにそれぞれの選手がたくさん練習をされて大会に参加していらっしゃる印象を受けました。今回私は先月の講習会で学ばせて頂いたことを半分くらいしか生かせませんでしたが、とても楽しかったです。他のベテラン審判の方に教えて頂きながら一日を過ごさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

当日は、他にも様々な競技が開催されていて、空き時間に観戦させて頂いたのも楽しかったです。今回経験させて頂いたことを、今後の活動にも生かしていきたいと思います。当日お世話になりました皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。(S)

障害者スポーツ指導員中級講習会を終えて





東京都で実施された中級指導員養成講習会に参加をした。今回の参加者は総勢 41 名。期間は 11 月と 3 月の前期 4 日間、後期 5 日間、全過程 61 時間で講習会が行われた。今講習会から実施カリキュラムが変更されこれまで以上に内容の濃い講習会となった。講習にあたっては初級講習を修了している指導員が対象であることはもちろんであるが、その講習内容は初級指導員が障害者スポーツ実践リーダーとするならば、中級はこれらリーダーをコーディネートする立場としての能力が求められていると感じる。障害者スポーツを振興実践する上で中級指導員が求められるこのコーディネーターとは、楽しくスポーツを実践する、楽しくスポーツをするための工夫や適材適所のリーダーの運営、これらを取りまとめるマネジメント力などが要求されてくると感じた。まさに障害者スポーツの中核をなすポジションにすることになる。こんなことを考えていると、とっても重圧が・・・となりそうであるが、私たちを始め今回の講習修了者の皆さん、またこれから中級をと考えている指導員の方々、一人ひとり、互いのネットワーキングを最大限に発揮してみましょう。そうすれば重圧なんて感じることはないと考えます。それぞれのアイディア、経験、知識これらを上手に使いこなす、中級指導員同士が支え合い情報の共有を図ることが大切であると感じました。皆で障害者スポーツについて議論する、美味しい酒と肴を食しながら、あーでもない、こーでもない・・・話を咲かせてみて改めて実感しました。

また明日から、学んだことを生かし障害者スポーツの現場へと新たな気持ちで向かおうと思います。そして皆さんと色々な現場で出会えたら・・・と願っています！！

多摩障害者スポーツセンター スポーツ支援室

小川 真由美 橋本 和秀

指導員協議会 暑気払いのおしらせ

指導員協議会では久しぶりの「暑気払い」を下記のとおり実施します。

当日は午後 2 時から王子スポーツセンターで研修部主催の「障害区分」の研修もあります。しっかりと勉強したあとで交流できるといいですね。

日 時 7 月 18 日 (土) 5 時 30 分～

場 所 JR 十条駅近くの「大吉」

参加方法 ①メールで事務局まで info@tcsid.jp

②FAXで 東京都障害者スポーツ指導員協議会宛 03-5206-5587

参加を希望される方は 7 月 15 日 (水) までに 上記の方法で申し込んで下さい。

*詳しいことは指導員協議会ホームページに掲載しますのでご覧になってください。



事務局からのお知らせ

◆ ジャパンパラリンピック夏季競技大会指導員の募集について

1.水泳大会 (平成 21 年 7 月 20 日)

2.陸上大会 (平成 21 年 9 月 22 日)

3.アーチェリー大会 (平成 21 年 10 月 3,4 日)

協力希望する方は財団法人日本障害者スポーツ協会のホームページおよび担当者まで申し込みをお願いいたします。

<http://www.jsad.or.jp> または担当者 (長谷部さん hasebe@jsad.or.jp) まで

◆ 第 7 回視覚障害教育研究協議会開催のお知らせ

日 時 平成 22 年 2 月 20、21 日

場 所 筑波大学付属視覚特別支援学校

内 容 公開授業および研究協議会

問合せ先 担当 進 和枝 (03-3943-5422)

詳細はホームページ (<http://www.nsfed.tsukuba.ac.jp>) をご覧ください。



◆ ローリングバレーボール審判協力員を募集のお知らせ

説明会 平成 21 年 7 月 26 日 (日) 15:30~17:00

会 場 東京都障害者総合スポーツセンター

問い合わせ先 篠原 03-3980-2492 (TEL&FAX)

◆ 移送サービスのご案内

重度障害者の移動、スポーツ参加に困っている方、集団移動、などなど...

内容についてはご相談に応じます。

ぜひご相談、ご利用ください。

東京ハンディキャップ連絡会 篠原 03-3980-2492

編集後記
自転車の通勤をして
いると雨カッパが大
変ありがたい。近頃は
お洒落で素材もいい。
少ないボーナスで買
おうかあ
雨降りの自転車乗
りには十分ご注意く
ださいねえ